

| | |
|-------------------------------|---|
| 研究課題名 | 破裂大動脈瘤に対する治療方針と予後に影響を与える因子の検討 |
| 研究機関名 | 武蔵野赤十字病院・国立循環器病研究センター |
| 研究責任者 | 所属 循環器科 氏名 山口 徹雄 |
| 研究期間 | 平成 29年 7月 ～ 平成 30年 7月 |
| 研究の意義・目的 | <p>[研究の背景] 日本循環器学会では、全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベース構築として「循環器疾患診療実態調査（JROAD）」を行っています。</p> <p>[研究の目的] JROAD調査施設の中からDPC(Diagnosis Procedure Combination；診断群分類)参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれたDPCデータを集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。</p> |
| 研究の方法 (対象期間含む) | <p>[対象となる方] 平成24年4月1日以降に、本学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設に入院されたすべての患者様です。</p> <p>[研究の方法] JROADデータベース2012から2014に登録されたデータの内、破裂大動脈瘤の病名の方を抽出し、それらの方の背景や行われた治療内容、転帰について解析します。</p> |
| 個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む) | <p>この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、日本循環器学会の倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用するデータベースは匿名化処理がされており、日本循環器学会へ個人情報が提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。研究結果は個人が特定できない形式で学会等で発表されます。収集したデータは国立循環器病研究センターにて厳重な管理のもと保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。</p> |
| 問合せ先 | <p>[問い合わせ先] 循環器疾患診療実態調査事務局： 国立循環器病研究センター内 〒565-8565 大阪府吹田市藤白台 5-7-1 TEL：06-6833-5012（内線：8356） E-mail：j-circdb@ml.ncvc.go.jp</p> |